

法藏館書店ニュース 3月

目次

話題の本 P1
法藏館新刊案内 P2~4
法藏館刊行予定案内 P5
法藏館書店新着案内 P6~15

特集1:西田哲学への扉 P16~17
特集2:教育新潮社最終在庫 P18
お知らせ P19
法藏館書店ベスト10・メール配信サービスご案内 P20

★お知らせ★ 3、4月の書店休業日

3月のお休み:7日・14日・21日・28日

4月のお休み:11日・18日・25日 ※4/4(日)は営業いたします。

話題の本

●読売新聞[夕刊](2021/2/16掲載)

『近江商人の魂を育てた寺子屋』

一川島俊蔵の教えに学ぶ』

中野正堂著・四六判・192頁・本体2,000円+税

ISBN:978-4-8318-5715-6

●中日新聞[朝刊](2021/2/16掲載)

『法話のきほん』

伊東恵深著・四六判・138頁・本体1,300円+税

ISBN:978-4-8318-8776-4

●静岡新聞[朝刊](2021/2/14掲載)

法藏館文庫『アニミズム時代』

岩田慶治著・松本博之解説・文庫判・347頁

本体1,200円+税・ISBN:978-4-8318-2613-8

●愛媛新聞(2021/2/13掲載)

●中外日報(2021/1/20掲載)

●中外日報(2021/1/18掲載)

『文化』

ISBN:978-4-8318-6265-1 本体2,000円+税

試用版

●中外日報(2021/2/12掲載)

『隠元と黄檗宗の歴史』

竹貫元勝著・A5判・386頁・本体3,500円+税

ISBN:978-4-8318-6262-4

●文化時報(2021/2/8掲載)

『法事がわかれば親鸞がわかる』

一通夜から墓参りまで』

北畠知量著・四六判・168頁・本体1,200円+税

ISBN:978-4-8318-8781-8

●熊本日新聞[朝刊](2021/2/2掲載)

●奈良新聞[朝刊](2021/1/31掲載)

『近代の仏教思想と日本主義』

石井公成監修

近藤俊太郎・名和達宣編

A5判・572頁・本体6,500円+税

ISBN:978-4-8318-5560-2

YouTube



●中外日報(2021/1/22掲載)

『梵文『法華経』翻訳語彙典』

植木雅俊著・B5判・2,840頁・本体48,000円+税

ISBN:978-4-8318-7026-1

●朝日新聞大阪版[夕刊](2021/1/21掲載)

『近世の天台宗と延暦寺』

藤田和敏著・四六判・250頁・本体3,500円+税

ISBN:978-4-8318-7742-0

法蔵館文庫 第9弾!

◆ブッタとサンガ——〈初期仏教〉の原像

【仏教】

三枝充恵著・丸井 浩解説・文庫判・288頁・本体1,100円＋税・ISBN:978-4-8318-2620-6

一人のブッタから多くの仏が生まれたのはなぜか。サンガはどのように成立したのか。仏教の根本問題を明快な叙述で解きほぐした一書。

■目次

- I インド仏教史の時代区分とブッタ観
 - 第一章 インド仏教史の三分割
 - 第二章 〈原始仏教〉を〈初期仏教〉に
 - 第三章 インド仏教史の時代区分とブッタ観の展開
 - 第四章 ブッタと諸仏
- II 初期仏教聖典について



◆村上专精と日本近代仏教

【近代仏教／思想史】

オリオン・クラウタウ編・A5判・370頁・本体5,800円＋税・ISBN:978-4-8318-5561-9

近代仏教学のパイオニア・村上专精。その思想と行動を考察し、近代仏教史上における彼の位置づけを問うたはじめての本格的な研究論集。

■目次

- 村上专精という課題——はしがきに代えて(オリオン・クラウタウ)
- 序章 統一論とユニテリアン思想
 - 村上专精の全体像に向けて(ミシェル・モール／亀山光明訳)
 - 第I部 伝統の再構築——村上专精の初期思想
 - 第II部 仏教統一論とその思想的意義
 - 第III部 統一論の彼方——村上专精の遺産 ほか



◆古代インドの入門儀礼

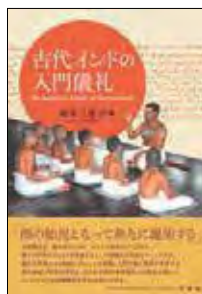
【インド学／仏教】

梶原三恵子著・A5判・462頁・本体9,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6388-1

古代インドの入門儀礼の成立と発達、聖典学習者の地位と教団との接点を解明した知識継承の営みの核心に迫る総合研究。

試用版

- 目次
- 第一部 プラフマチャリンとプラフマチャリヤ
- 第二部 ヴェーダ入門儀礼——儀軌の成立と展開
- 第三部 ヴェーダ入門儀礼の二つの相
- 第四部 ヴェーダ入門儀礼と初期仏教の受戒儀礼



◆初期無量寿経の研究

【仏教／美術】

壬生泰紀著・A5判・512頁・本体12,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6389-8

〈初期無量寿経〉の形成過程、思想体系などを考究し、視覚的展開を視野に阿弥陀仏像の誕生背景や図像モチーフを解明する総合的研究。

■目次

序 章

第一部 〈初期無量寿経〉の形成過程とその思想

第二部 〈初期無量寿経〉の視覚化とその展開

終 章

資料 阿弥陀仏の光明と寿命について



◆敬西房信瑞の研究——鎌倉浄土教典籍論

【仏教】

前島信也著・A5判・1,001頁・本体25,000円＋税
ISBN:978-4-8318-7095-7

謎多き鎌倉期の浄土宗僧侶・敬西房信瑞。彼の著作を仏教文献学という見地からその価値を提示し、信瑞の教学的背景と人物像に迫る。

■目次

第一篇 信瑞とその著作

第二篇 信瑞著作の書誌学的整理

第三篇 信瑞著作に見る教学背景

第四篇 信瑞の思想—『広疑瑞決集』の思想とその特徴—



◆貞慶撰『観世音菩薩感應抄』の研究

【仏教】

龍谷大学仏教文化研究叢書41

楠 淳證、新倉和文著・A5判・450頁・本体9,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6387-4

貞慶が自らの親しい浄土信仰と弥陀浄土信仰の理論を示した『観世音菩薩感應抄』『安養報化』の貴重写本を翻刻読解し

pdfelement

試用版

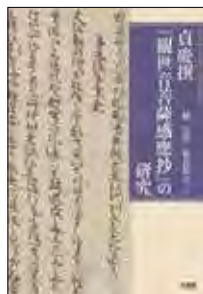
第一部 総論

第一章 貞慶撰『観世音菩薩感應抄』の撰述と思想的特色(楠 淳證)

第二章 『観世音菩薩感應抄』の成立と前後の貞慶(新倉和文)

第二部 『観世音菩薩感應抄』の翻刻読解研究

附 録 貞慶撰『安養報化』(上人御草)の翻刻読解研究



◆新装版 口語訳 教行信証 附領解

【仏教／真宗】

金子大榮著・四六判・542頁・本体2,700円＋税
ISBN:978-4-8318-6578-6

親鸞の主著で浄土真宗の根本聖典『教行信証』。難解な漢文を現代語に訳して親鸞の思想を再現し、領解では著者の信仰を語る。

■目次

總序	行の巻
教の巻	大意
大意	経説(本願と成就)
出世の正意	結釈
結釈	相承の師釈 ほか



◆児灌頂の研究——犯と聖性

【仏教】

辻 晶子著・A5判・362頁・本体8,500円＋税
ISBN:978-4-8318-7733-8

髪に山王権現が降臨し、児が観音菩薩となる中世の密教儀礼・児灌頂について、諸本研究と内容からその輪郭を初めて明らかにする。

■目次

第Ⅰ部 児灌頂の基礎的研究	第Ⅱ部 児灌頂の諸相
第一章 諸本の分類	第四章 異本『弘児聖教秘伝私』考
第二章 児灌頂の儀軌	第五章 児灌頂と今東光『稚児』
第三章 談義所での書写活動	第六章 口伝別紙『櫛口伝事』『櫛譜秘事』
付論 美濃国深瀬談所について	資料編
付論 『胎内口決』に関する覚書(附翻刻)	



◆「唯識」から浄土教の菩薩像を問う

【仏教】

——虚妄分別(煩惱)から意言分別(智恵)へ

海野孝憲著・四六判・138頁・本体1,000円＋税
ISBN:978-4-8318-8788-7

唯識思想における菩薩と仏の正覚の智慧の本質を背景から問われる法蔵菩薩と阿弥陀仏の根源的関係について明らかにする。

第一章 「虚妄分別」と「意言分別」とは
第二章 『無量寿経優波提舍願生偈註』(浄土論)
第三章 曾我先生の法蔵菩薩＝阿摩羅識説に菩薩像を問う
第四章 唯識より浄土教の菩薩像を問う



〈2021年4月 刊行予定〉

◆流行神——民間信仰におけるハヤリ・スバリとそのメカニズム【民俗学】

佛教大学研究叢書41

村田典生著・A5判・240頁・本体5,500円＋税・ISBN:978-4-8318-6270-9

流行神はいかにして現れたのか。突如として信仰を集めた神と寺社、地域、参拝者、歴史や民間信仰との関係を丹念に調査して、神仏流行の要因とそのメカニズムを解き明かす。

◆唐招提寺第二十八世凝然大徳御忌記念 凝然教学の形成と展開

(一財)律宗戒学院編・B5判・462頁・本体10,000円＋税・ISBN:978-4-8318-6242-6

華嚴・律を中心に多岐にわたる著述を残した凝然。その多彩な著作活動を検討し、凝然教学の全体像を仏教学・歴史学の観点から解明。

◆対話哲学としての道元思想

【禅宗／思想史】

岡島秀隆著・A5判・予432頁・本体10,000円＋税・ISBN:978-4-8318-4567-2

道元の教説を西洋哲学等と比較して解釈し、教説・思想の相互理解と理解の深化を進める比較解釈学的方法から考察。

◆新装版 大無量寿経——《他力本願》

【仏教／真宗】

石上玄一郎訳著、結城令聞解説・四六判・239頁・本体2,000円＋税・ISBN:978-4-8318-6579-3

浄土教の根本経典である『大無量寿経』。作家による現代語訳と仏教学者の解説を収載したわかり易い入門書が、新装版にて復刊。

◆パーリ語文法——仏典の用例に学ぶ

【語学】

シヨバ・ラニ・ダシュ著・A5判・328頁・本体4,000円＋税・ISBN:978-4-8318-7735-2

最古のパーリ語文典『カッチャーヤナ』に基づく解説と仏典由来の豊富な文例。初学者から上級者まで実践に役立つ文法基礎30課。

pdfelement の人類学——近代の果てに、人は何を願うのか【宗教】

試用版 近代学、別所哲介、川口幸大、藤本透子編・A5判・420頁・本体4,000円＋税
ISBN:978-4-8318-7718-7

いま、そしてこれから、私たちは何のために生きるのか？ 何が私たちを生かしているのか？ ヒトとしての根源的なこの問いに、「宗教性」の視点から人類学と宗教学の知見が迫る、12章からなる注目の論考集。

法蔵館書店新着案内

岩波オンデマンドブックス

◆清沢満之全集 第六卷

——精神主義

〈岩波書店〉

小川一乗編集代表・A5判・415頁・本体8,200円＋税

清沢の精神主義に関する代表的な著述をまとめる。雑誌『精神界』に発表された論文を中心に、「他力の救済」「我は此の如く如来を信ず(我信念)」など、宗教的信念の思想的表現を達成した論考を多数収録する。



岩波オンデマンドブックス

◆清沢満之全集 第七卷

——仏教の革新

〈岩波書店〉

小川一乗編集代表・A5判・418頁・本体9,600円＋税

明治29年秋から31年春まで、3年間にわたる宗門改革運動に取り組んでいた時期の論説を中心に集成する。雑誌『教界時言』に発表された数々の論考は、運動の精神的支柱となった。併せて清沢の教育論を収録する。



◆七高僧と親鸞

鎌田宗雲著・A5判・93頁・本体900円＋税

〈永田文昌堂〉

親鸞教義は、インド・中国・日本の七人の教えを受け入れ思索を深めている。その独自の考えが、親鸞にどのように受け入れられたかを考察する。



◆〈問法ノト〉聖典のことは

pdfelement

試用版 鎌田宗雲著・A5判・287頁・本体3,000円＋税 〈永田文昌堂〉

経典・正信偈・和讃・御文章・教行信証・諸種の話題等から100題を選び、その語句について教学上の疑問を追求しつつ、教法を味わったノート。真実信心を確かめていく真宗僧侶・門信徒のあり方を指し示す好著。



◆浄土真宗の智慧

——釈尊から親鸞に学ぼう

〈アートヴィレッジ〉

瑞田信弘著・四六判・203頁・本体1,200円＋税

釈迦や親鸞の生き方や考え方を、断片でもいいから自分の人生に対してのヒントや物差しにしたい。そんな人に向け、“変わり者住職”が浄土真宗について自在に語る。NHKカルチャーセンターの初級仏教講座から生まれた本。

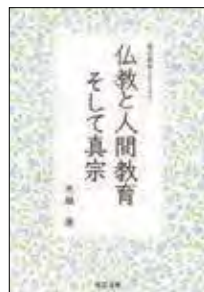


真宗教育シリーズ7

◆仏教と人間教育 そして真宗

木越 康著・文庫判・81頁・本体350円＋税 〈東本願寺出版〉

「他者と共に生きる事」の大切さは理解できても、自己中心性を離れることができない私たち。それでも、朋(とも)なる社会の実現を諦めず、明るい未来へ向かうには一体どうすればいいのか……。次代を担う子ども達のために仏教・真宗教育がもつ意義を、ブッダ、親鸞聖人の教えをとおして尋ねる。

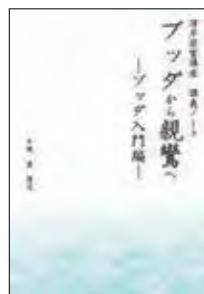


湾岸親鸞講座 講義ノート 〈湾岸親鸞講座事務局〉

◆ブッダから親鸞へ——ブッダ入門編

木越 康講述・A5判・159頁・本体1,000円＋税

2013年から2年に及び開催された「湾岸親鸞講座」の内容が『ブッダから親鸞へ』として発刊。お釈迦様が説いた仏教が日本へと伝来し、その教えをどのように親鸞聖人は受けとめられたのか。本書は全12回の講義のうち、前半6回を「ブッダ入門編」として収録。世界宗教の普遍性、特徴からブッダの生涯(誕生、出家、縁起の悟り、説法等)まで。



湾岸親鸞講座 講義ノート 〈湾岸親鸞講座事務局〉

◆ブッダから親鸞へ——親鸞入門編

木越 康講述・A5判・308頁・本体1,000円＋税

「湾岸親鸞講座」において2013年8月から2015年6月まで開催された「ブッダから親鸞へ」というテーマのもと、木越康氏による全12回のうち、後半6回分を「親鸞入門編」としてまとめたもの。親鸞聖人の生涯と思想、比叡山での修行、法然上人との出会い、阿弥陀とは何か、親鸞と念仏等についてご講義いただいた内容が収録されています。



筑摩選書204

◆『往生要集』入門

——人間の悲慘と絶望を超える道

阿満利磨著・四六判・286頁・本体1,600円＋税 〈筑摩書房〉

地獄と極楽——源信は、不条理に満ちた人生をもがきながら生きている私たちを包摂する世界観を提示した。

法然と親鸞が揺るぎなきものとした浄土仏教の源流とは。



構築された仏教思想8

◆一遍——念仏聖の姿、信仰のかたち

長澤昌幸著・B6判・181頁・本体1,600円＋税 〈佼成出版社〉

一遍は時宗の開祖で鎌倉仏教の名僧の一人。「捨て聖」、「遊行上人」とも呼ばれる。

善光寺・高野山・熊野など聖地を巡拝して他力念仏の信心を深め、念仏札を携えて全国各地を念仏遊行し250万人に結縁。農民・漁民から武士層まで幅広い信仰を集めた。確かな歴史的裏付けのもとその独特な信仰姿勢を明らかにする。



花野充道博士古稀記念論文集

〈山喜房佛書林〉

◆仏教思想の展開 日蓮仏教とその展開

花野充道博士古稀記念論文集刊行会編・A5判・1,652頁
本体30,000円＋税

日蓮教学研究で知られる花野充道氏の古稀記念論文集。日蓮教学、宗史、仏教学など国内外の学者による53本の論文を収録。



◆仏法僧の現在——無宗教日本の葬式仏教

木村文雄著・四六判・236頁・本体2,500円＋税 〈八千代出版〉

「無宗教」な祈りを捧げているにもかかわらず、多くの人が「葬式仏教」と語るのはなぜだろう。この「無宗教」の現状を、日常生活に溶け込んで、ほとんど意識されない「葬式仏教」の姿を、仏法僧という三宝のそれぞれに焦点を当ててあぶり出す。また、近年ではその意味が忘れられ、簡略化が進む「葬式仏教」に込められた祈りと現状についても分析する。



◆だれでもわかる ゆる仏教入門

松崎智海著・四六判・207頁・本体1,300円＋税 〈ナツメ社〉

仏教界のインフルエンサー、松崎智海が仏教の教えをやさしく解説。お釈迦様の生い立ちから、仏教の考え方、お寺と仏事の素朴なQ&Aまで、ゆる〜く解説します。また、現代人の悩みに仏教の教えで答えるコーナーや、七大宗派の僧侶が語るそれぞれの開祖の魅力など、これまでの本にはない魅力も満載です。



NHK出版 学びのきほん

◆お経で読む仏教

釈 徹宗著・A5判・125頁・本体670円＋税 〈NHK出版〉

その中身についてはほとんど知らないのに、誰もが法事などで一度は聞いたことのある「お経」。本書はお経の魅力を伝えるために、仏教の歴史に沿ってお経を5種紹介する。「NHK100分de名著」での分かりやすい解説で人気を誇る著者が、自身が惹かれた仏典をもとに仏教の「いろは」を整理、初心者でも理解できる道を照らす。



◆ここにしかない原典最新研究による

本当の仏教 第4巻

——釈迦族の悲劇からも分かる誰もが救われるお釈迦さまの教え

鈴木隆泰著・四六判・334頁・本体2,400円＋税 〈興山舎〉

仏典を原語で読む学者にして住職の著者だからこそ解明できた仏教の真髄。平易かつ具体的に釈尊覚りの真実を説く。

第4巻は、今に役立つ釈尊の在家信者へ向けた対機説法の事実や釈迦族はなぜ滅亡したかの真相を解明。



ちくま学芸文庫31.1

死の仏教

京極逸蔵著・四六判・310頁・本体1,200円＋税 〈筑摩書房〉

試用版

死は死後の救済のためではなく、この世を生きるための教えであり、それは仏などの「行」を行うことで初めて意味を持つ。仏教徒の倫理規範「六波羅蜜」の実践を説く。専門用語に丁寧な説明をルビで付した仏教入門の書。



◆今、ここに在る身命

藤田徹文著・四六判・235頁・本体1,800円＋税 〈探究社〉

本書は、著者が自らの人生を振り返り、「私が私としてこの身命（いのち）を今、ここにあらしめてくださる根源である“いのちのはたらき（アミダ如来）”を味わうものとしたい」との思いから著した。



◆亡くなった人にできること

——死んだ人はどこへ行き、何を思うのか

玉置妙憂著・四六判・186頁・本体1,300円＋税 〈総合法令出版〉

本書では、家族や友人など大切な人を亡くして苦しんでいる方の事例や死後の世界観を解説。その上で、医療とスピリチュアルの両面の視点から、亡くなってからでも生きている人間にできること、現代人の死の向き合い方の問題とその解決方法などを紹介します。

大切な人の「死」に真正面から向き合うための1冊です。



◆人のために生きればよい

瀧口宥誠著・新書判・238頁・本体1,100円＋税 〈PHP研究所〉

本書は、自ら「忘己利他」を貫いてきた、信州善光寺大勧進第103世貫主が、その大切さ、その功德を、自らの経験を踏まえ語り下ろした一冊。

全国から年間600万人が訪れるという信州善光寺。なかなか行くことができない人にむけ、善光寺トップの貫主が初の「紙上説法」をお届けする。まさに「読む善光寺参り」と言える一冊。



◆仏になったら仏を殴れ

——コロナ時代を生き抜くための死の問答集

三浦大輔著・四六判・229頁・本体1,500円＋税 〈ブックマン社〉

本書は、250人以上の「死」を見てきましたが、執着と幻滅を捨てて旅立った人など、見たことがありません。死んでから誰にも見られなくて、だから誰もが「死」が怖い。

本書は、死が怖いすべての人に向けた、死ぬことばかりの問答集です。コロナ禍の死や、安楽死や尊厳死の問題についても、たくさんお答えしています。



pdfelement

試用版

◆仏典解題事典 第三版

斎藤 明、丸井 浩、下田正弘、蓑輪顕量、梶原三恵子、高橋晃一、
加藤隆宏編・A5判・490頁・本体7,500円＋税 〈春秋社〉

インド・チベット・中国・日本の仏教と、それに関連するインドの聖典まで網羅した『仏典解題事典』を、最新の研究を踏まえて内容を補筆・修正し、項目も増広した必携の書。



◆マハーボーディ寺——ブッダの大いなる悟り

アレキサンダー・カニンガム著、ラームスループ・シン解説、
北條賢三監修、松本 栄一、松本 恭訳
A5判・331頁・本体10,000円＋税 〈マハーボーディ刊行会〉

1882年にロンドンで出版されたアレキサンダー・カニンガムによる『Mahabodhi(マハーボーディ寺)』の翻訳書。

本書は上下二冊入り(函入)となっており、上巻がカニンガムによる『マハーボーディ寺』の和訳、下巻がインド、ビハール州立マガダ大学の考古学者ラームスループ・シン名誉教授による詳細な口述コメントリーという構成。



◆新装版 インド後期密教(上)

——方便・父タントラ系の密教

松長有慶編著・四六判・236頁・本体2,800円＋税 〈春秋社〉

タントラ仏教とも称されるインド後期密教のうち、父(方便)タントラに焦点を当て、『秘密集会』などの代表的な聖典の教えをマンダラや成就法を含めて総合的に解説。

『インド後期密教(上)』(2005年刊)、待望の新装版。



◆新装版 インド後期密教(下)

——方便・母タントラ系の密教

松長有慶編著・四六判・236頁・本体2,800円＋税 〈春秋社〉

タントラ仏教とも称されるインド後期密教のうち、母(般若)タントラに焦点を当て、チャクラや脈管を使用する瞑想法の解説を中心に『ハーヴァジュラ』などの聖典を紹介。

『インド後期密教(下)』(2006年刊)、待望の新装版。



◆禅百題

鈴木大拙著・四六判・208頁・本体2,000円＋税 〈河出書房新社〉

禅とは何か——禅は無念を宗とする。無念とは、一切処に無心なることである。禅者は、意識の本源を窮めんとする。禅は、二元的・対象的・分別的知識では把握不可能である。禅は無分別の自覚、無分別の分別を本源とするのである。—隠れた代表傑作の記念復刊。禅入門の決定版。



◆現代「只管打坐」講義

——そこに到る坐禅ではなく、そこから始める坐禅

藤田一照著・四六判・630頁・本体2,500円＋税 〈佼成出版社〉

あらゆる「～のため」の放棄こそが坐禅。

坐禅がうまくいかないとき、“もっと頑張ろう”と努力の量を増やそうとするのではなく、努力の仕方を見直し、努力の路線を転換してみてもうどうだろうか。釈尊、道元禅師と私たちを繋げる坐禅とは何かを思索する、『現代坐禅講義』以後の探究の軌跡。



◆中世禅宗史叢説

——附 禅籍の口語 略解

西尾賢隆著・A5判・287頁・本体10,000円＋税 〈吉川弘文館〉

独特の用語ゆえに解説が難解な禅籍の研究に長年携わってきた著者が、『元亨釈書』をはじめ墨蹟を含む種々の禅籍や上表文を読み下し、語釈を施して現代語訳を加える。また中国に渡海した栄西や円爾、中国から渡来した蘭溪ら禅僧を中心に、日中仏教の交流史を概観。研究に資するため、漱石も用いた唐宋由来の口語の辞典「禅籍の口語 略解」を附載する。



◆中国禅宗史書の研究

高麗智証著・A5判・176頁・本体8,000円＋税 〈臨川書店〉

禅史である『楞伽師資記』から北宋初におよそ1000年を総括した『景德伝燈録』に至る唐宋期の禅史を、その個性を浮き彫りにし、祖統説の発達の断片を救済する。

敦煌文書や高麗古版本の読解を通して描き出されるのは、禅宗教団の根幹となる伝法・祖統の問題から、より通仏教的な実践や信仰へと広がる多彩な禅仏教の姿である。



◆近代本願寺論の展開

中西直樹著・A5判・275頁・本体3,800円＋税 〈三人社〉

近代本願寺の改革論や在家信者の動向に関する5編の論文に加え、1897(明治30)年に本願寺派末寺僧が本山内部の腐敗を告発した「暗黒本願寺論」を解題と共に収録。明治期における本願寺論の勃興と展開の過程を検証する。



龍谷叢書53

〈三人社〉

◆日本仏教アジア布教の諸相

中西直樹、野世英水著・A5判・376頁・本体5,000円＋税

国家による植民地統治を前提として進展してきた戦前期の日本仏教のアジア布教。満州とアジア諸地域の布教実態について論じるほか、2013～17年刊「仏教植民地布教史資料集成」各編の解題を収録する。



龍谷大学アジア仏教文化研究叢書10

〈三人社〉

◆欧米之仏教 復刻版 ——大谷派改革運動と神智学

中西直樹、川口 淳編著・A5判・464頁・本体25,000円＋税

1889年来日した神智学協会のオルコット。その招聘に尽力した佐野正道が創刊した機関誌『欧米之仏教』第1～6編を復刻。清沢満之以前の真宗大谷派教団改革運動の動向を知る上で必要不可欠な資料。解説等も収録。



近代日本宗教史2

◆国家と信仰——明治後期

中西直樹、大谷栄一、西村 明編・A5判・246頁
〈春秋社〉

試行版 近代日本宗教史2 国家と信仰——明治後期。近代化を推進した近代的な主義が各宗教メディアで主張され、国家による統制と強い担い手による仏教とキリスト教。日清、日露戦争等社会問題への応答。また、天皇と神社の自明でない結びつき、教派神道と国家神道の関係など、活発な言論活動の中の宗教を論じる。



◆聖徳太子は長屋王である

——冤罪「王の変」と再建法隆寺

木村 勲著・四六判・253頁・本体1,800円＋税 〈国書刊行会〉

創られた太子によって作られた古代史の核心部。太子伝説に影落とす長屋夫妻の死。冤罪事件から見える天平の真実に迫る! 「王の変」とは何だったのか。真実は再建法隆寺の本尊・釈迦像の銘文に刻まれていた。「上宮法皇と王后」の続けての死、聖徳太子夫妻のこととされる文意に秘められたのは、冤罪死の長屋王と吉備内親王のこと——。



◆【新装改訂版】般若心経ものがたり

青山俊董著・四六判・224頁・本体1,600円＋税 〈大法輪閣〉

現役・尼僧堂堂長が読み解く『般若心経』の世界!
5歳の時、長野県塩尻市の曹洞宗無量寺に入門。15歳の時に得度し、愛知専門尼僧堂で修行……その著者が幼少期より親しんだ『般若心経』を一字一句解き明かす!



◆法華経曼荼羅の研究

——制作者と伝承を担った人々

中 哲裕著・A5判・446頁・本体9,000円＋税 〈春秋社〉

長らく秘匿されてきた富山市八尾本法寺蔵「法華経曼荼羅」は、近年まで制作者・制作年代・制作目的が不明のまま伝承されてきた、全22幅の曼荼羅(重要文化財)である。本来ここに描かれることのない『法華経』以外の要素を手がかりに、文学・美術・歴史・宗教、さまざまな視点から曼荼羅に織り込まれた制作者の意図を詳らかにする画期的研究。



◆阿闍梨さまの料理番

——もっと知りたい精進料理

島居本幸代著・四六判・219頁・本体1,800円＋税 〈春秋社〉

試用版の料理番もつめる著者が「なぜお寺の朝食はお粥なのか?」中世の食文化はおもてなし料理だった」などなど、気になるエピソードとともに精進料理の基本や歴史を食材ごとに楽しく説く。日本人の体のみならず精神、文化をかたちづけてきた「食」の深みを味わう精進料理の入門書。



◆御朱印さんぽ 京都の寺社

時刻情報・MD事業部編・A5判・143頁・本体1,300円＋税
〈JTBパブリッシング〉

本書は、おもに京都市内で人気の高い御朱印のある寺社をたっぷり紹介しています。御朱印をいただく際に、一緒に知りたい「寺社の見どころ」「開運スポット」も徹底取材。快く御朱印をいただくための「基礎知識や参拝マナー」「今さら聞けない用語」、効率的におさんぽできる「モデルコース」なども丁寧に解説しており、御朱印さんぽの実用情報満載の1冊です。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 3月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・本体364円＋税

「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー 大友良英さん(音楽家)
危機的な状況になったとき、人は祭りをやりたくなる。
- ◎特集 3・11から10年 被災地の光と影
- ・親鸞万華鏡……ゲスト:森 達也さん
- ・東本願寺界限 今昔物語……「加納雲錦堂(表具)」 ほか



◆大乘 3月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・本体341円＋税

門徒の家族が深く浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のみなさまにお届けします。研修会や勉強会、進級の方にもおすすめです。

試用版

- ・「おのちの光はな」の「のちの目ざめ、いのちつづく」……なかがわあきら×ひびみえ
- ・釈徹宗の随縁探訪……ゲスト:瀬谷貴之さん
- ・親鸞聖人いまだ「仏さまの安心 私の安心」……高田未明
- ・お坊さんのいる病院「看取りの作法」……花岡尚樹 ほか



特集1 西田哲学への扉

昨年生誕150年を迎えた近代日本哲学の巨人・西田幾多郎。

実は仏教(特に禅と真宗)との関わりも深い。今回は、非常に難解とも言われる「西田哲学の世界」へ入るための扉となりえる本を、近年西田研究に取り組まれている名和先生に選んでいただきました。

◆人間・西田幾多郎——未完の哲学

藤田正勝著・四六判・389頁・本体3,600円＋税

生誕150年を機に上梓された決定的評伝。題に「人間」とあるように、西田の言葉はいかなる人間がいかなる苦悩を経験しつつ人生を歩んだかを知ることで、より深い次元での理解が可能となる。同著者による岩波新書『西田幾多郎——生きることと哲学』もおすすめ。(岩波書店)



◆西田幾多郎と鈴木大拙

——その魂の交流に聴く

竹村牧男著・A5判・444頁・本体4,400円＋税

西田幾多郎と仏教とのかかわりが、同年(1870年)生まれ、同郷(石川県)出身の親友・鈴木大拙との「魂の交流」を通じてたずねられている。世界的な哲学者・仏教者のスケールの大きさと思想の深さ、そして人間らしさを存分に知ることのできる名著。(大東出版社)

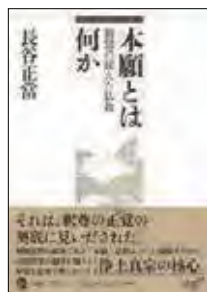


◆本願とは何か

ISBN: 978-4-8318-3843-8

長谷正富著・B5判・334頁・本体3,700円＋税

「西田幾多郎の哲学」との交流する場所が、独自の思索方法によって見いだされている。この書を読めば、誰もが自らもその場所をなりたいと欲するようになるのではないかとくに「自己を『証しする』(attester)ものとしての弥陀の本願」の章がおすすめ。(法蔵館)



選者：名和 達宣(なわ たつのり)

1980年生。大阪大学文学部(倫理学専修)卒業、大谷大学大学院文学研究科修士課程(真宗学専攻)修了。親鸞仏教センター研究員等を経て、現在、真宗大谷派教学研究所所員。論文に「西田幾多郎と『教行信証』」(『現代と親鸞』第31号)など。

■選者最新刊(共編) 『近代の仏教思想と日本主義』

本体6,500円+税・ISBN:978-4-8318-5560-2



◆西田幾多郎書簡集

藤田正勝編・文庫判・349頁・本体970円+税

岩波文庫からは論集や講演集、随筆集などが出されているが、なかでも昨年刊行されたこの書簡集が最もおすすめ。友人・門弟との対話や、家族への想い、戦時下での苦悩などがつづられており、その人間性や思想背景を知ることができる。ポケットに西田を。(岩波書店)



◆西田哲学と歴史的世界

——宗教の問いへ

杉本耕一著・A5判・341頁・本体4,400円+税

2016年に夭折した哲学者・杉本耕一氏が遺した唯一の単著。後期西田の「歴史的世界」という鍵語を軸に、宗教の課題へと展開されていくさまがじっくりと論じられている。あとがきには「親鸞が浄土教の祖師の文章を読んだように西田哲学を読みたい」とある。(京都大学学術出版会)



◆不滅の哲学 池田晶子

太田英輔著・四六変判・272頁・本体1,700円+税

pdfelement

試行版 精神の継承を見いだす著者は、両者の言葉から響く往々に調和を感じいかと問いかけてくる。哲学とは専門的な知識のことではなく、誰のうちに宿っている〈詩情〉の顕れであることが知らされる。(亜紀書房)



特集2 教育新潮社最終在庫

「千万人の聖典シリーズ」や「現代真宗名講話全集」などでも知られる教育新潮社様が、2月末日をもって出版販売業務を終了されました。これに伴い現状の在庫分をもって販売終了となりますので、ご購入を検討されている方はお早めにお買い求めください。

【主な書籍】

千万人の聖典シリーズ	書名	著者	本体価格+税
	無量寿経に聞く	松原祐善	2,600円+税
	無量寿経に聞く 下巻	延塚知道	2,500円+税
	観無量寿経に聞く	廣瀬 杲	3,300円+税
	阿弥陀経に聞く	伊東慧明	3,100円+税
	教行信証に聞く 上・中・下・別巻	桐溪順忍	2,900円+税 (別巻のみ3,400円+税)
	正信偈に聞く	桐溪順忍	2,300円+税
	浄土和讃に聞く	小端静順	3,200円+税
	高僧和讃に聞く	小端静順	2,200円+税
	正像末和讃に聞く	小端静順	2,858円+税
	浄土論註に聞く 第一～三巻	美濃部薫一	3,800円+税 (第三巻のみ4,300円+税)

◆教行信証 口述50講 岡 亮二著 A5判

- 第一巻 教・行の巻 517頁 本体7,200円+税
- 第二巻 信の巻(上) 350頁 本体5,300円+税
- 第三巻 信の巻(下) 358頁 本体5,300円+税
- 第四巻 証の巻 258頁 本体4,096円+税
- 第五巻 真仏土の巻 308頁 本体4,700円+税

親鸞によって著された『教行信証』は難解な書物とされている。本書は『教行信証』を本文に即して読み解き、そこに表現された親鸞の思想を明らかにする。



◆浄土真宗用語大辞典 稲城選恵著 A5変判

- 上巻 585頁 本体16,000円+税
- 中巻 552頁 本体16,000円+税
- 下巻 585頁 本体18,000円+税

稲城選恵師が、十年余の歳月をかけて用語を精選し、貫性のある辞典。原文を忠実に解説した研究案内、別冊索引付。



pdfelement

試用版

その他の書籍もございますので、在庫についてはお気軽にお問合せください。
弊社ショップサイト (<https://pub.hozokan.co.jp/>) でも商品一覧がご覧いただけます。

※在庫は販売状況によって変動しますので、品切れの際はご容赦ください。

詳しくは
コチラ！



お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法藏館書店 協賛

テーマ:「法華經の行者に学ぶ——日蓮聖人生誕800年記念」

第1回 リモート可 4月10日(土)「『法華經』と現代日本」

法藏館書店出店します。〈龍谷大学響都ホール校友会館(JR京都駅八条口・徒歩5分)・定員:150〉

宗教評論家 ひろ さちや氏

第2回 リモート可 5月15日(土)「日本仏教における法華信仰の変遷」

〈池上本門寺「朗峰会館」(東急池上線池上駅から徒歩15分)・定員150〉

東京大学 人文社会系研究科教授 蓑輪顕量氏

第3回 リモート可 9月11日(土)「戦国仏教と京都——法華宗・日蓮宗を中心に」

〈しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩12分)・定員:120〉

奈良大学 文学部教授 河内将芳氏

第4回 リモート無 10月9日(土)「日蓮主義とはなんだったのか」

〈京都新聞文化ホール(地下鉄烏丸線丸太町駅7番出口すぐ)・定員:120〉

佛教大学 社会学部教授 大谷栄一氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL: 075-682-1625 FAX: 075-682-1722

Eメール: shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

※2020年の講座の受講票をお持ちの方は、そのままお使いいただけます。

法藏館 春の本まつり開催宣言

期間…4月2日(金)～4日(日)

時間…10:00～17:00(最終日は16時まで)

場所…法藏館

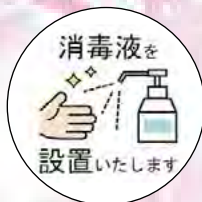


pdfelement

試用版

昨年の秋の本まつり同様、感染対策に留意しつつ3日間の本まつりを
会場は社会的距離が保てるようにレイアウトし、手指消毒剤を設置
皆様にはマスク着用をお願いしておりますので、何
卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。 株式会社 法藏館

今後の詳細情報は営業部Twitter、facebook等の
SNSにて発信いたします。



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(2月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	本体価格+税
1	1000の言葉	方丈堂出版編集部	方丈堂出版	1,500円+税
2	歎異抄 救いのことば【文春新書1283】	釈 徹宗	文藝春秋	950円+税
3	築地本願寺の経営学——ビジネスマン僧侶にまなぶ常識を超えるマーケティング	安永雄彦	東洋経済新聞社	1,600円+税
4	南無阿弥陀仏のすくい	瓜生 崇	響流書房	100円+税
5	法話のきほん	伊東恵深	法藏館	1,300円+税
6	令和版 仏の教え——阿弥陀さまにおまかせして生きる	大谷光淳	幻冬舎	1,300円+税
7	第50回鸞音忌記念法話集 浄土得生の正信	曾我量深	順照寺	909円+税
8	信心の書『歎異抄』講座——自己をみつめ、弥陀の本願に出会う	三明智彰	大法輪閣	2,300円+税
9	人生を照らす 親鸞の言葉	真宗大谷派 名古屋別院	リベラル社	1,000円+税
10	本願寺の草創——覚信尼と覚如上人	藤井哲雄	中山書房仏書林	2,600円+税

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

- ◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。
- ◆荷送料はご購入額合計により
 本体15,000円(税別)未満 送料——409円+税 代引手数料 300円+税
 本体15,000円(税別)以上 送料、代引手数料ともに無料
- ◆価格表示は税別価格です。



おかげさまで410年を迎えることになりました。
 仏教風土の都・京都に育てられた、わたしたち。
 そよ風が花の香りを伝えるように、これからも、
 仏教文化を伝える風でありたいと思います。

法藏館書店



pdfelement

お試用版 利用可能

E-mail: shop@hozokan.co.jp

都市下京区正面通烏丸東入
 FAX: 075-371-0458

【営業日および営業時間】
 月～土: 9:30～18:00
 祝 日: 10:30～18:00
 (休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



仏教書総目録刊行会 <http://www.bukkyosyo.gr.jp>
 法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つばやき中〜!

